

## 災害ゴミ処理に区民パワー

7月21日の集中豪雨で冠水した地区では、市道などの道路路上にたくさんのごみを取り残されました。  
8月1日には藤田さんと谷さん横の市道のごみを、近隣の有志で除去作業を行いました。  
始めはその量に「とても今日だけではできないだろう」と考えていましたがみんなの力が結集すると、見る見るうちにゴミは袋に詰められて行き、約1時間半の作業で終わりました。  
集められたゴミは、災害ゴミとしての市担当課に除去していただきました。



## 決め手になるか 雑草処理の省力化

農作業の中でも、畦や道路法面の雑草処理は大変な重労働のひとつです。  
農地・水・環境保全向上対策協議会では雑草を抑える方法のひとつとしてカープランツ

と呼ばれる特定の植物の育成を推奨しています。今年の夏には研修会を各地で開き、普及を促進しています。

5月には周南地区で、6月には長門地区でカープランツの一種、「ティフ・ブレア」の研修会が行われました。畦や法面をこの植物が完全に被膜すると、ほぼ10年間は他の雑草の発生を抑えることができると言われています。すでに「植生シート工法」という効果の高い方法も確立されつつあり、それらを利用すると、完全皮膜を実現す

## 協同で樹木の伐採

岡田地区の市道の傍（国田さんアパート南側）にねむの木が自生して、

るのは難しいと考えられていたところも、比較的用意にできるようです。  
当地区でも農道の法面や、排水路の法面などかなりの面積の雑草処理が農家の負担となっています。また、雑草のためにブロックの目地も傷みます。  
まだ八方原の環境を守る会では、直接的な取り組みはしていませんが、今後の研究課題のひとつかも知れません。今後先進地区などの情報などをしっかり見ていきたいと考えています。

障害となっていました。

関係者などで伐採することにし、8月23日の交通量の少ない早朝、作業を開始。瞬く間に切り倒しました。

メンバーは、そのまま県道の旧下八方原バス停の横に自生したもう一本のねむの大木も切り倒しました。



△流れてきた様々なゴミと土砂は、想像以上の量。

切り倒したねむの木を、小さく切り分けて処分▽



# 子ども会球技大会2連覇なる



トーナメント表を示しながら、チーム全員で「ハイ、ポーズ」

子ども会の球技大会は、ドッジボールとフライングディスクを組み合わせた「ドッジビー」という競技になっています。この競技はチームプレーが要求され、力任せでは通用しません。

昨年も森下・八方原チームはこの大会で優勝を勝ち取っていますが、本年も連覇を目指して夏休みから、しっかりと練習していました。

大会は8月2日に行われ、15チーム

## 区民総出の八方原ふれあい盆踊り

で競い合いました。結果は一ゲームも失わない完璧な優勝を飾りました。児童だけでなく、指導する保護者や応援のパワーが大きな後押しとなりました。

八方原ふれあい盆踊りは8月8日、時折小雨がぱらつく中、開催されました。

7月の豪雨被害で、事業所様からの協力も難しいかもしれないと予測されましたが、どの事業所様も、こうした困難な状況の中、例年通りにお力添えをいただきました。誠にありがとうございました。どうぞごさいます。

盆踊りはその年度にお亡くなりになった方の慰霊のお祭りです。その供養を通じて、区民の親睦を増進しようというところから、始まったふれあ



次々と点火される綺麗な花火は、ほんの一瞬。あたりは煙に包まれる。

い盆踊りです。今回はステージを設け、光が丘地区の「おじさんバンド」として上郷地区などで活躍している「スタートライツ」さんをお招きして、イベントを盛り上げていただきました。盆踊りには、地元の方々やゲストの方などたくさんの方が参加があり、近年にない大きな踊りの輪となりました。生活改善グループとソフトボール同

好会（青年部）のバザーも大盛況。子ども会のゲームも、歓声に包まれていました。また子ども会はお祭りのポスターをそれぞれ描いてくれました。子ども会恒例の夏期錬成会が、豪雨

被害のため、中止となりました。その分をしっかりと楽しんでくれたのではないのでしょうか。今年の新しい試みとして、花火を行いました。線香花火、ネズミ花火、地面において火花が吹き上げるもの、打ち上がるものなど、みんなで楽しみました。

## 大人も子どももラジオ体操

夏のラジオ体操は、いつものように行われていました。当番でリーダーが決まるようですが、今日のリーダーはとりわけ可愛らしい。でも、しっかりとみんなをリードしていましたよ。

